

秦野市議会

議会だより

発行者：秦野市議会議員 **やひろ伸二**

連絡先：〒259-1304 秦野市堀山下1番地

TEL. 0463-88-2777 (後援会事務所)

http://members2.jcom.home.ne.jp/shinji.yahiro/

議会報告

平成23年度秦野市議会第3回定例会が開催されました

秦野市議会第3回定例会(9月議会)が9月20日から10月18日の会期で開催され、平成22年度の歳入歳出決算の認定についてなど、市長提出議案16件ほかを審議・議決し閉会しました。主な議決内容は以下の通りです。

1. 市税条例の一部を改正(平成24年度から実施)

固定資産税・都市計画税に係わる第3、4期の納期を変更することを議決しました。改正される時期は以下の通りです。

<改正前> 5、7、12、2月 <改正後> 5、7、9、12月

2. 平成22年度各会計決算の認定

平成22年度の一般会計及び水道事業会計に加え、5つの特別会計(国保・下水道・老人医療・介護・後期高齢者医療)の決算を認定(承認)しました。

一般会計及び特別会計の実質収支額は約23億1千万円と黒字、単年度収支も約1億8千万円と一般会計、特別会計それぞれ黒字となりました。収入未済額(市税等の滞納額)は全会計で約51億9千万円となっており、前年度と比較して約2億8千万円(5.2%)の減と若干ではあるが改善傾向にあります。水道事業会計は経常損益(営業損益+営業外損益)が約1億円の赤字となりました(前年度比約1億円改善)。

3. 本町中学校昇降口棟建設に関する工事請負契約の締結

本町中学校昇降口棟の昇降口棟本体、渡り廊下(新校舎、第1棟接続用)の建設工事(平成22年度継続費設定)に関する工事請負契約を議決しました。契約金額は1億5千810万円です。

4. 平成23年度一般会計補正予算の認定

国庫支出金や県支出金の変更に伴い、約2億3千万円増の約45億8千万円としました。主な事業は下記の通りです。

- ・土木費国庫補助金 △1,139万円
- ・子育て支援事業市町村交付金 2億4,474万円
- ・子育て支援事業交付金基金積立金 1億3,224万円
- ・カルチャーパーク再編整備事業費 9,500万円
- ・鶴巻温泉駅南口広場整備事業 △2,048万円

5. 人事案件(正副議長の選出ほか)

議長に高橋照雄議員、副議長に川口薫議員を選出(任期は慣例により1年)。改選にともない各委員会のメンバーも決定しました。また、市教育委員会の委員に内田晴久氏を再任、市固定資産評価審査委員会の委員に古谷勝二氏を新任することに同意。市農業委員候補に久保寺則子氏と清水富美子氏を推薦することに同意しました。さらに、監査委員の任期満了により大野祐司議員を認定しました。

やひろ伸二より一言

当選後、初めての議会へ身の引き締まる思いで望みました。第3回定例会(9月議会)では、これまで経験したことのない手順やルールで戸惑うこともありましたが、各種課題について全力で取り組みました。これまで、絶大なるご支援とご協力を頂いた市民の方々には、まだまだ恩返しとはいきませんが、これからも初心を忘れず、私の掲げる『絆 未来へつなぐ秦野づくり』実現に向け、市民の皆様の声を大切に一生懸命市政に取り組んで参りますので、引き続きのご指導を宜しくお願い申し上げます。



トピックス

都市建設常任委員会にて10月31日から3日間、下記3市を訪れ東日本大震災の影響や復興状況、また、駅周辺整備における市街地再開発事業などについて意見交換を行いました。

●青森県八戸市



津波で傾いた公衆トイレ

8.4mもの大津波に襲われましたが、過去のチリ地震での津波の教訓を活かし、海沿の方々は行政防災無線などで、ほとんどの方が避難されました。日頃の災害に対する意識の大切さを再認識しました。

●岩手県花巻市

震度6弱の大きな揺れに襲われ、その後3日間の停電の中での復旧対応となりました。災害に対する備えとして発電機やガソリンなどの必要性や緊急災害時の市民への情報発信の重要性について意見交換を行いました。



道路の陥没で浮いたマンホール

●栃木県小山市

市街地再開発計画のリーディングプロジェクトとしてマンション建設を推進しています。マンション建設に向けては、平成17年からの3年間で134回もの推進懇談会を開催し、地元自治会や商店街、市民、市議会などの賛同と協力を得ながら推進しています。このように市の状況を市民の皆さまに理解して頂く活動は非常に参考となりました。



完成予定の施設

平成22年度第3回定例会 決算特別委員会報告

秦野市議会議員 やひろ伸二



9月20日から10月18日の会期で開催された第3回定例会において、決算特別委員会の委員となりました。平成22年度の決算執行内容について12の質問を行ない、その中から抜粋しご報告致します。

1. 防災行政無線について「難聴地区の対応は！」…消防費（防災課）

〔質問〕 3月11日の震災時は、携帯電話・メール等の通信手段がほとんど使用できなかった。

- (1) 本市では停電時に防災行政無線は使用できるのか？
- (2) 難聴地区は把握しているのか（その対応は）？

〔回答〕 (1) 防災行政無線には、バッテリーを備えており停電時でも使用可能である。停電時の使用は概ね5分の放送と55分の休みを繰り返した場合約72時間(3日間)使用可能。

- (2) 平成18年度に全自治会対象のアンケートを実施し、21カ所の難聴地域が確認されたが、平成19年から計画的に受信装置の追加設置を行い、平成22年度末で15カ所が解消されている。今年度は2カ所に受信装置を設置予定であり、残りの4カ所についても自治会の方々と十分に調整を行い計画的に難聴地域の解消に努めていく。



意見要望 計画的に進められているようで安心した。しかし、暴風雨時や高齢で難聴の方々など、聞き取りにくい場合も多々想定される。無線の電波が市内全域をカバーしているのであれば、個人の費用で購入できるような安価な無線受信機を検討して欲しい。

2. 小児医療費助成制度の拡充について「拡充計画は！」…民生費（健康子育て課）



〔質問〕 本市の財政が今後益々厳しくなることが予想される状況にある中、本市の小児医療費助成制度の対象年齢は、0～6歳児までが入院・通院、7歳～中学生までが入院となっている。他市の状況としては今年度から厚木市、海老名市が新たに0歳～中学生までを入院・通院の対象にするなど、県内でも年齢の拡充を進める市町村が増えて来ている。

- (1) 本市の小児医療費助成制度の拡充計画は？
- (2) 対象年齢を1歳引き上げた場合の費用は？

〔回答〕 (1) 現時点では平成24年度の小児医療費助成制度対象年齢拡充の計画はないが、新総合計画「HADANO2020プラン」の重要な柱と考えているので、今後検討していきたい。

- (2) 1歳引き上げると約3千5百万円の費用増となる。

意見要望 この制度は子育て支援の一つであり、最近では各種子育て支援制度を考慮し定住先を検討する家庭もある。今後1歳ずつの拡充でも良い。安心して子どもを産み育てることができる街づくりをお願いする。

3. 橋りょうの長寿命対策について「点検結果は！」…土木費（道路整備課）

〔質問〕 平成22年度、市内に架かる88橋の長寿命化修繕計画の策定に向け点検を行なっている。

- (1) 橋りょうの点検結果は？
- (2) 長寿命化修繕計画は？

〔回答〕 (1) 点検結果は下記の通り。

- ・当面補修の必要がない 65橋 (73.8%)
- ・今後補修の必要がある 22橋 (25.0%)
- ・緊急の補修が必要あり 1橋 (1.1%)



- (2) 今年度中に長寿命化修繕計画を策定し優先順位を付け費用の平準化を行なっていく。

意見要望 橋りょうは、本市の地形からも市民のライフラインの要である。また、単年度に集中し財政負担とならないよう十分に考慮し、市民の安心・安全と財産を守って欲しい。